地域貢献委員会

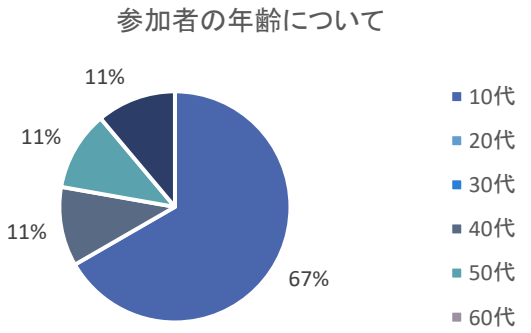
〈令和6年度 第4回公開講座 アンケート結果〉

日　時：令和6年10月11日（金）18:00～19:30
テーマ：「被災者支援のこれまでとこれから　～能登半島地震を通して考える～」
講　師：新川 泰道（ビハーラ秋田　曹洞宗 宝昌寺 住職）

参加者	9名
回答数	9件
回答率	100.0%

1. あなたの年齢（年代）について伺います。

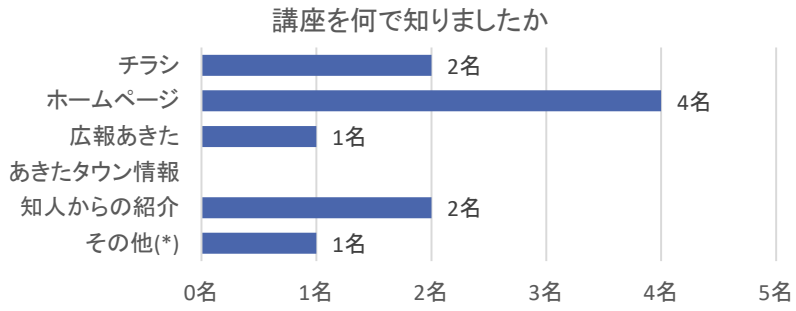
	人数	割合
10代	6名	66.7%
20代		0.0%
30代		0.0%
40代	1名	11.1%
50代	1名	11.1%
60代		0.0%
70代以上	1名	11.1%



2. 今回の公開講座を何で知りましたか（複数回答可）。

	人数	割合
チラシ	2名	20.0%
ホームページ	4名	40.0%
広報あきた	1名	10.0%
あきたタウン情報		0.0%
知人からの紹介	2名	20.0%
その他(*)	1名	10.0%

＊メール（1）



2で「チラシ」とご回答の方、チラシはどこにありましたか？

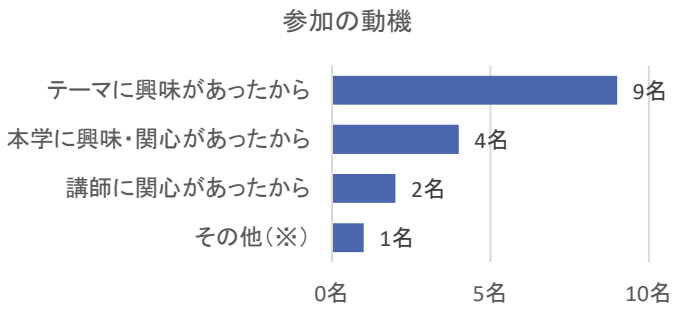
・放送大学秋田学習センター

・SNS

3. 公開講座への参加の動機を教えてください（複数回答可）。

	人数	割合
テーマに興味があったから	9名	56%
本学に興味・関心があったから	4名	25%
講師に関心があったから	2名	13%
その他（※）	1名	6%

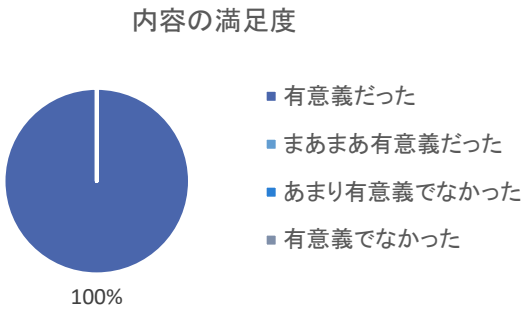
（※）学びたいと考えた



4. 今回の講座についてお伺いします。

1）内容はいかがでしたか。

	人数	割合
有意義だった	9名	100.0%
まあまあ有意義だった		0.0%
あまり有意義でなかった		0.0%
有意義でなかった		0.0%



2）上記のように感じた理由をお聞かせください。

- 被災地についての理解が深まりました。
- 写真などがあって分かりやすかった。
  最近起こった時例だったので、心に深く感じた。
- 災害や被災者支援について興味をもっていたので、実際に被災地に行った方の生の声が聞けたのでいい時間でした。
- 元の職場がビハーラと関りがあったため近況の活動を理解できた。
- 自分も能登にボランティアに行ったため、重なる点、違う点、また学んだ点があったからです。またボランティアに行く際には今回学んだ点を生かしていきたい。
- 現地の話や、現地での人との関わり方、感じたことなど、たくさんお話を聞けて良かった。今から自分にできることを考えたいと思った。
- ちょうど1ヶ月前に能登へ行き、今回の公開講座で共感できること、さらに学べることがあると思って参加しました。私たちの行った大谷小学校も途中登場して、現地で目のあたりにした景風が思い出されました。新川さんの活動に対する心意気がとても強く感じられ、新たに学ぶこともあり、とても良い時間をすごすことができました。
  「諸行無常」の考え、とても素敵だと感じました。
- 目の前で新川さんの体験と言葉で伝わる内容が、伝わり思いが湧く時間でした
- 能登半島地震での災害支援について、被災地で活動されている方だからこそのリアルなお話が聞けたことが有意義であると感じました。

5. 本学の公開講座について、ご感想やご要望がありましたらご記入ください。

- 私は総合探求の時間に、災害関連死について学んでいます。
  今回、新井さんのお話を聞いて、とても考えさせられました。
  ありがとうございました！
- 初参加でした。少人数で驚きました。
  貴重な講座でした。
- 新川さんの行く先々での心温まるエピソードがたくさんあってとてもほっこりしました。新川さんの優しさがひしひしと伝わってくる講座でした。「禅」のTシャツ、とても欲しくなりました。
  母が昔ビハーラで働いていて、とてもご縁を感じました。
  私自身、能登へ行き、現地の現状に圧倒されてしまいました。
  もっといろんな年代の人に能登の「今」を知ってほしい。
- どなたでも無料で受講し学べる貴重な講座だと感じました
- 能登半島地震での活動や避難生活の課題、日頃の心構えなどについて聞くことができ、とても勉強になりました。炊き出しでは味付けの濃さや分量、見栄えにも気を配っていたというお話を聞き、被災された方への細かな配慮や災害時の食事の大切さを感じました。能登半島地震を他人事とは思わず、普段から地域での結び付きを大切にして生活すること、災害支援は助け合いの連鎖であることを忘れず自分ができることは積極的に行いたいと思います。